

中田

浅水自主防災組織で防災訓練



▲それぞれの地域の避難場所へ向かう子供たち

地域みんなで自主防災

浅水地区自主防災組織(大内直人代表)と浅水小学校合同の防災訓練が6月12日、行政区の集会所などで開催されました。訓練は、小学校児童が下校中に大きな地震が発生した場合を想定したものです。浅水地区では、自主防災組織が行政区ごとに避難所を設置しており、行政区長が中心となって下校中の児童を安全な場所に避難させ、保護者が迎えに来るまで保護することになっています。今回は初の試みとなる小学校との合同訓練でしたが、学校と自主防災組織がしっかりと連携し、無事児童たちを避難場所に誘導していました。

迫

グラウンドゴルフ大会を開催



▲慎重にボールポストを狙う選手たち

雨の中でも笑顔で交流

北方地区コミュニティ推進協議会(名生東右会長)が主催する北方地区コミュニティグラウンドゴルフ大会が7月12日、長沼フットピア公園で開催されました。今年で5回目を迎える今回の大会は、各行政区代表の15チーム、総勢90人が参加し、熱戦を繰り広げました。当日はあいにくの雨で、グラウンドゴルフの悪い大会となりましたが、参加した選手たちは笑顔で力強い一打を見せるなど、はつらつとしたプレーで楽しんでいました。大会は、好成績を残した古宿Bチームが優勝しました。

豊里地区へ褒状と感謝状

豊里地区の交通事故ゼロ1000日達成表彰式が6月17日、豊里公民館で行われ、市交通安全対策協議会と登米警察署長から豊里コミュニティ推進協議会(後藤昇会長)へ褒状が贈られました。また、この達成に併せ、登米警察署長から登米市豊里地区へ県警察本部交通部からの感謝状が伝達されました。豊里地区は平成22年9月15日以降、交通事故が無く、褒状を授与された後藤会長は「関係機関および団体が一体となり、この記録を一日でも長く続けられるよう努めたい」と決意を述べました。

交通死亡事故ゼロ1000日

豊里



▲褒状を授与される豊里コミュニティ推進協議会の後藤会長(右)

みんなの願い、お星様に

児童たちに七夕の由来を知ってもらうため毎年実施している「七夕まつり」が7月4日、登米保育所で行われました。参加した56人の児童たちは、用意された2本の笹に、事前に作成しておいた七夕飾りや短冊を飾り付けていました。短冊には「早く自転車に乗れるように」などの願いが書かれており、児童たちはお星様に願いが届くよう一生懸命お祈りをしていました。まつりでは、七夕の歌の発表や5歳児たちによるハンドベル「きらきら星」の演奏などが行われ、年に一度の七夕まつりを楽しんでいました。

登米保育所で七夕まつり

登米



▲きれいに飾り付けた七夕飾りの前でハンドベル演奏をしました

米山

ALTの先生が三味線に挑戦



▲千葉さんと真剣な表情で練習するクリステン先生

三味線の魅力を世界へ

毎週金曜日の夜、米山町中津山にある千葉悦朗さん宅から、三味線の演奏が聞こえてきます。演奏しているのは昨年ALT(外国語指導助手)として来日した、ハインゼル・クリステン先生です。千葉さんの三味線教室に通い始めて5カ月、演奏できる楽曲は10曲を超えました。すでに市内のイベントなどで演奏しているクリステン先生。9月29日に登米祝祭劇場で行われる「ふだん着コンサート」での発表が次の目標。先生は、「三味線の素晴らしさを多くの皆さんに伝え、故郷のアメリカ、そして世界にも広めていきたい」と話していました。

東和

ふるスポ東和地区大会開催



▲均衡した試合で盛り上がる家庭バレーボール競技

熱戦の中にも笑顔溢れ

7月6、7日の2日間、ふるさとスポーツ祭の東和地区大会が開催され、グラウンドゴルフやソフトボールなどの4種類の競技に40チームが出場しました。ターゲットバードゴルフの鈴木長恒審判長からは、「熱戦の中でも笑顔が溢れ、ケガ人も無く、楽しんで競技していることが何より素晴らしい。今後もスポーツを楽しんでください」と講評をいただくと、各競技とも和気あいあいプレーする姿が印象的でした。家庭バレーボールでも最後まで白熱した攻防が繰り広げられ、選手の皆さんは暑さも忘れてボールを追っていました。